

まちの出来事

人権擁護活動で栄誉

中西瑞明さんに法務大臣表彰

11/10

人権擁護委員としての長年の活動が認められ、法務大臣表彰を受けた中西瑞明さんが10日、市役所の市長室を訪れ報告を行いました。棚橋副市長は「紋別市にとっても名誉なこと」と受賞を祝福しました。

中西さんは「大臣表彰は思っても見なかったこと。皆さんのために少しでもお役に立

つため、いっそう研鑽を積んでいかなければなりません」と話していました。



来園者15万人達成

オホーツク流水氷公園が1周年

11/14

昨年11月に開園した道立オホーツク流水氷公園は14日、「あおぞら交流館」で開園1周年感謝祭を開催しました。好天にも恵まれ、家族連れなど1069人が来園し、子供縁日や紋小金管バンド、赤ちゃんハイハイ競争など様々な企画やイベントを楽しみました。

し、11月には15万人を超えるなど好調な利用状況が続いています。この日も、開園と同時に多くの家族連れが訪れ、縁日などの企画に人気が集まりました。



災害を絶えず想定

社協 図上訓練で認識新たに

11/14

社会福祉協議会は13日・14日、万が一の災害に備えた図上訓練を市総合福祉センターで開催しました。

「災害を絶えず想定して、地域で備えよう」と町内会の役員ら約60人が参加して、地域住民の認識や心構えなどについて理解を深めました。

日頃から地域活動として意識し実践することで、いざというとき役に立てたいということです。



西部耕地プチ農園で収穫したもち米の「脱穀作業」

11/16

道営土地改良事業を手がけている、オホーツク総合振興局産業振興部・西部耕地出張所で16日、ミニ水田も併設しているプチ農園で、収穫したもち米の脱穀作業が行われました。

作業に当たったのは田植え、稲刈りに当たってきた渚滑小5年生児童8人。傘掛けし乾燥させた稲穂を「足踏み式脱穀機」で、実の部分の「籾（もみ）」を取り外す作業。籾はすり鉢を使って「籾すり」を行い、玄米にしました。

